

CASBEE-広島 (2010年ver.1)		用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります	
(仮称)全国お菓子めぐり館		欄に数値またはコメントを記入	
スコアシート 実施設計段階			
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	全体	
Q 建築物の環境品質			
Q1 室内環境			
1 音環境			
1.1 騒音			
1 暗騒音レベル			
2 設備騒音対策			
1.2 遮音			
1 開口部遮音性能			
2 界壁遮音性能			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			
1.3 吸音			
2 温熱環境			
2.1 室温制御			
1 室温設定			
2 負荷変動・温度制御性			
3 外皮性能			
4 ゾーン別制御性			
5 温度・湿度制御			
6 個別制御			
7 時間外空調に対する配慮			
8 監視システム			
2.2 湿度制御			
2.3 空調方式			
3 光・視環境			
3.1 昼光利用			
1 昼光率			
2 方位別開口			
3 昼光利用設備			
3.2 グレア対策			
1 照明器具のグレア			
2 昼光制御			
3.3 照度			
1 照度			
2 照度均斉度			
3.4 照明制御			
4 空気質環境			
4.1 発生源対策			
1 化学汚染物質			
2 アスベスト対策			
3 ダニ・カビ等			
4 レンジオネラ対策			
4.2 換気			
1 換気量			
2 自然換気性能			
3 取り入れ外気への配慮			
4 結露対策			
4.3 運用管理			
1 CO ₂ の監視			
2 喫煙の制御	建物全体を禁煙としている。		
Q2 サービス性能			
1 機能性			
1.1 機能性・使いやすさ			
1 広さ・収納性			
2 高度情報通信設備対応			
3 バリアフリー計画			
1.2 心理性・快適性			
1 広さ感・景観			
2 リフレッシュスペース			
3 内装計画			
1.3 維持管理			
1 維持管理に配慮した設計			
2 維持管理用機能の確保			
2 耐用性・信頼性			
2.1 耐震・免震			
1 耐震性			
2 免震・制振性能			
2.2 部品・部材の耐用年数			
1 躯体材料の耐用年数			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			
6 主要設備機器の更新必要間隔			

2.3 適切な更新			
2.4 信頼性			
1	空調・換気設備		
2	給排水・衛生設備		
3	電気設備		
4	機械・配管支持方法		
5	通信・情報設備		
3 対応性・更新性			
3.1 空間のゆとり			
1	階高のゆとり		
2	空間の形状・自由さ		
3.2 荷重のゆとり			
3.3 設備の更新性			
1	空調配管の更新性		
2	給排水管の更新性		
3	電気配線の更新性	構造部材を傷めることなく電気配線の更新・修繕ができる。	
4	通信配線の更新性		
5	設備機器の更新性		
6	バックアップスペース		
Q3 室外環境(敷地内)			
1 生物環境の保全と創出			
2 まちなみ・景観への配慮		まちなみに新たなシンボルを与え、まちの活性化に貢献している。	
3 地域性・アメニティへの配慮			
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		メインゲート前に待機・待ち合わせ空間を確保している。	
3.2 敷地内温熱環境の向上		敷地内の舗装面積を小さくするよう努めている。	
LR 建築物の環境負荷低減性			
LR1 エネルギー			
1 建物の熱負荷抑制			
2 自然エネルギー利用			
2.1	自然エネルギーの直接利用	屋光利用設備(採光屋根)を採用している。	
2.2	自然エネルギーの変換利用		
3 設備システムの高効率化			
4 効率的運用			
4.1	モニタリング	屋光利用設備(採光屋根)を採用している。	
4.2	運用管理体制		
LR2 資源・マテリアル			
1 水資源保護			
1.1 節水			
1.2 雨水利用・雑排水再利用			
1	雨水利用システム導入の有無		
2	雑排水再利用システム導入の有無		
2 非再生性資源の使用量削減			
2.1	材料使用量の削減		
2.2	既存建築躯体等の継続使用		
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	—	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	—	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	リサイクル可能な鉄板基礎を採用している。	
3 汚染物質含有材料の使用回避			
3.1 有害物質を含まない材料の使用			
3.2 フロン・ハロンの回避			
1	消火剤	ハロン消火剤を一切使用していない。	
2	断熱材		
3	冷媒		
LR3 敷地外環境			
1 地球温暖化への配慮			
2 地域環境への配慮			
2.1 大気汚染防止			
2.2 温熱環境悪化の改善			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			
1	雨水排水負荷低減		
2	汚水処理負荷抑制		
3	交通負荷抑制	適切な量の自転車置場を確保している。	
4	廃棄物処理負荷抑制		
3 周辺環境への配慮			
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			
1	騒音		
2	振動		
3	悪臭		
3.2 風害、日照障害の抑制			
1	風害の抑制		
2	日照障害の抑制		
3.3 光害の抑制			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明なし。	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		